

2026年1月20日

報道関係者

地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター

## 第12回 日文研－京都アカデミック ブリッジ開催のお知らせ

国際日本文化研究センター（日文研）は、次のとおり、第12回 日文研－京都アカデミック ブリッジを開催いたしますので、周知のご協力をよろしくお願ひいたします。

### 発表題目　世界でバズる日本仏教－禅と地獄と仏様

開催日時　2026年2月17日（火）17時30分～19時30分（開場：17時00分）

開催会場　ハートピア京都

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

（京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口、地下鉄連絡通路にて連結）

参加料　無料

主 催　国際日本文化研究センター、京都新聞

登壇者

パネリスト：ダニエル・ボレンガッセール（日文研・JF-日文研フェロー：外来研究員）

坂知尋（日文研・プロジェクト研究員）

守屋友江（日文研・客員教授）

進行：瀧井一博（日文研・教授）



ダニエル・ボレンガッセール



坂知尋



守屋友江



瀧井一博



### 内容

禅はなぜ世界を魅了し、地獄と極楽はどのように国境を越えて広がったのでしょうか。アメリカで育まれた日本仏教美術研究の歩み、日本社会の中で変容してきた地獄イメージ、そして、仏教学者鈴木大拙が英語で語った「日本文化」と仏教。本セミナーでは、世界で「バズる」日本仏教の姿を、歴史・美術・思想の視点からひもとき、日本仏教が持つ国際的な広がりと今の時代にどのような意味を持っているのかについて考えます。

詳しくは、日文研ウェブサイトをご覧ください。

URL: [https://www.nichibun.ac.jp/ja/events/academic\\_bridge/2026/02/17/](https://www.nichibun.ac.jp/ja/events/academic_bridge/2026/02/17/) (日文研ウェブサイトに移動します)

※ 取材を希望される場合は、京都新聞 COM 「日文研－京都アカデミックブリッジ」係までご連絡をお願いいたします。TEL: 075-255-9757 E-mail: [keikaku@mb.kyoto-np.co.jp](mailto:keikaku@mb.kyoto-np.co.jp)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国際日本文化研究センター  
International Research Center for Japanese Studies



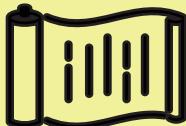
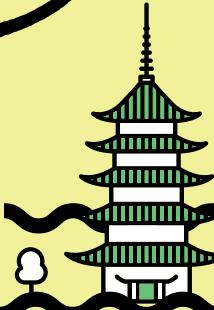
京都新聞

NICHIBUNKEN KYOTO ACADEMIC BRIDGE

第 12 回

日文研 京都

# アカデミック ブリッジ



## 世界でバズる日本仏教 —禅と地獄と仏様—

パネリスト：ダニエル・ボレンガッセール（国際日本文化研究センター JF-日文研フェロー）

パネリスト：坂 知尋（国際日本文化研究センター プロジェクト研究員）

パネリスト：守屋 友江（国際日本文化研究センター 客員教授/南山大学 教授）

進行：瀧井 一博（国際日本文化研究センター 教授）

要申込

入場無料

定員 200 名  
(抽選による)

2026. 2.17 (火) 17:30~19:30 (開場 17:00)

京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都 (京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地)

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター、京都新聞

# 「日文研一京都アカデミック ブリッジ」とは



国際日本文化研究センター(日文研)が京都新聞社と連携し、これまでの研究の蓄積と最新の成果を地域の皆様に発信することを主な目的とする催しです。2020年度から京都市中心部の会場で継続的に開催しています。このイベントの運営には、皆様からの寄附金が使われています。

## THEME

### 世界でバズる日本仏教—禅と地獄と仏様—

禅はなぜ世界を魅了し、地獄と極楽はどういうに国境を越えて広がったのでしょうか。アメリカで育まれた日本仏教美術研究の歩み、日本社会の中で変容してきた地獄イメージ、そして、仏教学者鈴木大拙が英語で語った「日本文化」と仏教。本セミナーでは、世界で「バズる」日本仏教の姿を、歴史・美術・思想の視点からひととき、日本仏教が持つ国際的な広がりと今の時代にどのような意味を持っているのかについて考えます。



パネリスト:ダニエル・ボレンガッセル

(Daniel BORENGASSER)

日文研 JF-日文研フェロー: 外来研究員

2024年ハーバード大学人文科学部東アジア言語・文化学科博士課程修了、博士(日本美術史)。京都国立博物館アソシエートフェロー等を経て、2025年9月より現職。専門分野は東アジア仏教美術・彫刻史・宗教建築。主要業績として、「Hall of the Lotus King: Sculpture and Multiplicity in Early Medieval Japan」(博士論文、2024)、阿部泰郎・阿部美香ほか編『ハーバード美術館 南無仏太子像の研究』(共著、2023)などがある。



パネリスト:坂 知尋(さか ちひろ)

日文研 プロジェクト研究員

2019年総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻博士課程修了。博士。龍谷大学世界仏教文化研究センター博士研究員等を経て、2022年7月より現職。専門分野は仏教美術史、宗教民俗学。主要業績として、*Datsueba the Clothes Snatcher: The Evolution of a Japanese Folk Deity from Hell Figure to Popular Savior*, Brill's Japanese Studies Library 71, 2022(単著)などがある。



パネリスト:守屋 友江(もりや ともえ)

日文研 客員教授/南山宗教文化研究所 第一種研究所員/南山大学 人文学部教授

1999年明治学院大学大学院国際学研究科博士課程修了。博士(国際学)。阪南大学国際コミュニケーション学部教授等を経て、2025年4月より日文研客員教授。専門分野は近代仏教史、宗教思想史。著書に『アメリカ仏教の誕生——二〇世紀初頭における日系宗教の文化変容』(2001)、共編著に*Issei Buddhism in the Americas* (Duncan R. Williamsとの共編、2012)、*Selected Works of D.T. Suzuki*, Vol. 3 (Jeff Wilsonとの共編、2016)などがある。



進行:瀧井 一博(たきい かずひろ)

日文研 教授

京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、博士。京都大学人文科学研究所助手、神戸商科大学助教授、日文研准教授等を経て、2013年7月より現職。専門分野は国制史、比較法史。主要著作に『史(フミ)としての法と政治—書を紐解き、人を考え、時代を読み解く』(2024)、『増補 文明史のなかの明治憲法—この国のかたちと西洋体験』(2023)などがある。

## 参加申し込み方法

締切: 2026年2月2日(月) (必着)

参加ご希望の方は、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス  
(複数名参加希望の場合は全員分の①~⑥)を明記のうえ、

応募フォーム、Eメール、はがきでお申し込みください。

応募多数の場合は、抽選のうえ当選の方に聴講券を送付いたします。



【応募フォーム】

〈応募フォーム〉 [https://kyoto-np.jp/\\_lwUAcUc](https://kyoto-np.jp/_lwUAcUc)

〈Eメール〉 [keikaku@mb.kyoto-np.co.jp](mailto:keikaku@mb.kyoto-np.co.jp)

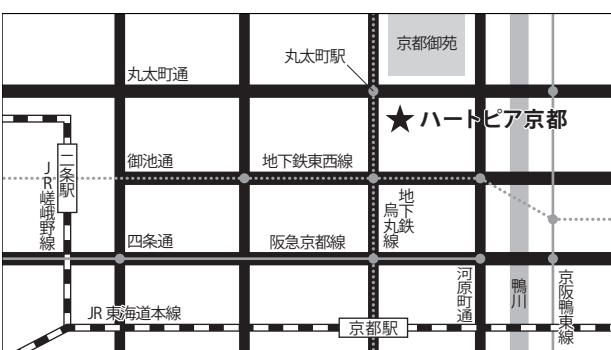
〈はがき〉 ☎604-8567(住所不要)京都新聞COM「日文研一京都アカデミック ブリッジ」係

## 【会場】

京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

## 【アクセス】

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5番出口  
(地下鉄連絡通路にて連結)
- 京都市バス、京都バス、JRバス  
「烏丸丸太町」バス停下車



※応募者の個人情報は、京都新聞COMが管理し、本事業の運営と日文研関連事業等のご案内に使用させていただく場合があります。

※本事業の取材を希望される方は、右記のアドレスにご連絡願います: [keikaku@mb.kyoto-np.co.jp](mailto:keikaku@mb.kyoto-np.co.jp)